

民謡伝承会チャリティーショー 歌と踊りのオンパレード

5月13日、町中央公民館において山田民謡伝承会（新保会長）主催の「山田民謡伝承会チャリティーショー」が行われました。開会式では新保会長が「町民が元気にならないと本当の復興とはいえない。今回の公演で皆さんに元気になってもらいたい」と挨拶。同会のほか、菊池信夫さん、中里福次郎さん、平稀流美翠会（釜石市）、山田吹奏楽団など町内外の応援者が出演しました。公演は、民謡のみならず、歌謡、合唱、舞踊など盛りだくさんの内容。司会者の軽妙なトークと相まって会場は終始笑い拍手に包まれました。なお、今回の公演では、入場料の一部が町に寄付されました。



北の大海で生き抜け！！ 織笠小児童がサケ稚魚放流

4月26日と27日、織笠川において「サケ稚魚放流会」が行われ、織笠小学校の児童17人と轟木小学校の児童14人がそれぞれ参加しました。同放流会は、子供たちにサケ資源の大切さや川をきれいにする心を養ってもらおうと毎年行われていましたが、昨年は震災により中止。子どもたちにとって待ちに待った放流会となりました。子どもたちは稚魚に「大きくなって帰ってきてね」などと優しく声を掛けながら川に放流。元気に大海に向かって泳ぎだす稚魚を見守っていました。

元気いっぱいに駆ける子どもたち 町内各小学校で運動会開催

5月19日～27日にかけて、町内各小学校で運動会が開催されました。5月19日、山田南小学校（佐賀敏子校長、児童228人）では、創立30周年を記念して大運動会を開催。震災で昨年の運動会が中止となったため、開催は2年ぶりとなり、1年生だけでなく2年生にとっても初めての運動会となりました。開会式で佐賀校長は「今回の運動会は自分たちだけでなく、住民の協力によって開催しています。お礼に、精いっぱい競技し住民の方々に元気を届けましょう」とあいさつ。児童らはそれに応えるように熱戦を繰り広げ、青空に大歓声が響いていました。今回は、南小校庭仮設住宅の住民も山田健康音頭で特別出演するなど、児童・家族のみならず、応援に駆けつけた住民にとっても思い出となる一日になりました。



子どもたちの頑張る姿に観客らも思わず盛り上がる（上写真）／騎馬戦では見るものを楽しませる知略を巡らせた戦いに（右写真）





今月の題字

みづき
大川 瑞月ちゃん
(山田南小2年)

町のわだい

バス利用者に安心の場を 町内にバスシェルター設置

震災以来、子どもの心のケアを中心に支援をしている公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンでは、4月30日、山田郵便局前、細浦の両バス停にシェルターを設置しました。この両バス停は多くの中高生らが登下校時に利用しています。このため、屋根の付いたシェルターの設置は利用者らにとって待ちにまつたものでした。細浦バス停を利用する高校生は「以前は座るところもなく、特に雨の日は大変でした。大変感謝しています」と話していました。



町長旗争奪スポ少野球大会 豊間根スポ少が優勝を飾る

4月28日、第24回町長旗争奪スポーツ少年団野球大会が開催されました。大会は町総合運動公園で行われ、町内の少年団3チーム（豊間根、大沢、山田の名野球スポーツ少年団）が出場。選手たちは日ごろの練習の成果を発揮し、打撃に守備にと随所に光るプレーを見せていました。手に汗握る試合の結果、決勝で7対4と競り勝った豊間根野球スポーツ少年団が優勝。準優勝に大沢野球スポーツ少年団が輝き、最優秀選手賞には豊間根野球スポ少の佐々木開成君かいせいが選ばれました。また、29日には第2回井上義一旗争奪中学校野球大会も行われ、山田中学校が優勝しています。

滝沢村の支援団体から画材寄付 美術同好会へ温かい支援

4月30日、町保健センターにおいて、山田町美術同好会（会員14人、山根ノブ子会長）に対する画材の贈呈式が行われました。画材を寄付したのは、滝沢村のボランティア団体「こどものこと。研究所 座・いどばた」。同団体では、全国各地の支援者に画材の提供を呼びかけ、寄付された画材を同同好会に贈呈しました。同同好会では震災当時、会員の半数以上が被災。新会員を加えて活動を再開しましたが、震災のショックから絵が描けない会員も多く、全員での活動ができませんでした。山根会長は「今回の支援をきっかけとして再び全員が集まり活動できるようになれば」と決意を新たにしていました。

